

人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

mamori

No. 11
Summer 2012

特集
コウチ木育のすすめ

付録
おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた3 この花の木を知りたいな

木と本と The tree and the book

家族で楽しめる、高知山の施設

みどりの遊び場

森からの贈り物

「mamori」は、木と人との共生、木の文化、森林環境税を活用した事業を伝える冊子です。

高知県は森林環境税を活用して、将来を担う子ども達への森林環境教育や森川海の連携・交流など、県民の主体的な活動の支援、間伐をはじめとする森林保全等を推進しています。森林率84%という全国一の森林県であることを誇りに、県民がそれぞれの立場で森林の将来を考えて欲しいと願います。



ビロードムラサキ(天鷲絨紫)

クマツヅラ科の常緑低木
樹高:2~3m 花期:7~8月

日本では和歌山県、高知県、九州南部の林の中に生えていて、3mほどの高さになります。この植物は、牧野富太郎博士が高知市五台山で採集した標本をもとに、新種として発表したものです。



ハマボウ(黄槿)

アオイ科の落葉低木
樹高:3~5m 花期:7~8月

神奈川県三浦半島から西の、暖かい地方の海岸の入り江などに生え、高さ5mほどになるハマボウ。高知県では室戸岬や春野町などの海岸に見られ、公園などにもよく植えられています。



フヨウ(芙蓉)

アオイ科の落葉低木
樹高:1~4m 花期:7~10月

中国原産で、古くから庭園などに植えられているフヨウ。日本の暖かい地方の一部では野生化しています。園芸種の中には、花の直径が30cmにもなるものも。寒い地方では冬になると地上に出ている部分は枯れてしまいます。



ハマゴウ(蔓荆)

クマツヅラ科の落葉小低木
樹高:30~70cm 花期:7~9月

ハマゴウは海岸の砂地に生えます。茎は長く、砂の上や中をはい、枝は上を向いて高さ30~70cmほどです。果実は良い香りがして、薬として用いるほか、高知ではよく眠れるように枕に入れて利用しています。



付録
おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた3

執筆・監修 / 高知県立牧野植物園
牧野富太郎 生誕150年記念展
「植物学者・牧野富太郎の足跡と今」
時期 / 6月16日(土)~9月23日(日)



クサギ(臭木)

クマツヅラ科の落葉小高木
樹高:4~8m 花期:7月下旬~9月

春の若い芽は山菜として古くから食用に利用されてきました。奈良の高野山では、お坊さんが若い芽を取って、漬け物や保存食にすることが知られています。枝や葉をちぎると強い臭いがあるため、「臭木」と名付けられました。



ホルトノキ

ホルトノキ科の常緑高木
樹高:10~20m 花期:7~8月

暖かい地方の海岸近くに生える木で、高さ20m、幹の直径60cmになる高木です。緑の葉の中に赤くなった古い葉が混じっているのがよく目立ちます。ホルトノキは「ポルトガル木」がなまって変化した名前です。



タラノキ(榎の木)

ウコギ科の落葉低木
樹高:2~6m 花期:8~9月

タラノキは山野に生える、高さ5mくらいの落葉低木です。若い芽は山菜として広く利用されています。栽培されているものは、メダラといって、とげのないものが多いです。また、木の皮は薬として用います。



サルスベリ(百日紅)

ミソハギ科の落葉小高木
樹高:5m前後 花期:7~10月

高さは大きいもので10mほどになります。木の皮がはがれおちると肌がつるつるして、猿もすべり落ちることから和名がつけられました。また、花の咲く期間が長いので、百日紅という漢字が当てられています。

STEP1
ふれる

木の良さを
体感的に理解する

様々なものに
好奇心を持つ

STEP2
つくる

木や木材の
特徴を理解する

創造的な
思考で問題を
解決できる

STEP3
知る

環境に配慮した
行動が出来る

木材製品を
選択・利用できる

森林保全活動
等への参画

木材の利用と
環境の関係を理解

「木育」は、子どもをはじめとする、すべての人が
「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みのことです。

高知でも「森のようちえん」をはじめ

木育の取り組みが県内各地で行われています。

今回の特集は、高知の「木育」についてご紹介します。

特集 コウチ 木育 のすすめ

平成18年9月に閣議決定された「森林・林業基本計画」において、市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動を「木育」と呼称・推進することが明記されました。



『森はだれがつくったのだろうか?』

ウィリアム・ジャspbassett文、チャック・エッカート絵、河合雅雄訳

童話屋から発行。定価は1,365円

今回おすすめの本を ご紹介してくれた人

NPO法人高知こどもの図書館
館長 古川佳代子さん



全国で初めての特定非営利活動法人(NPO法人)が設立し運営する、児童書を中心とした公共図書館として1999年に開館しました。赤ちゃんの絵本から中学、高校生の読み物、児童文学に関する様々な研究書などの貸し出しを基本としながら、読書案内、読み聞かせ、ブックトーク、情報の収集と発信、その他NPOならではの多彩な企画を行っています。



NPO法人
高知こどもの図書館
高知市永国寺町6-16
TEL / 088・820・8250
開館時間 / 10:00~18:00
休館日 / 火曜日、木曜日

<http://www.pikara.ne.jp/kodomonotoshokan/>

山を大事にすること
は大切なこと。でも、ど
うやって森や木とつき
あつていけばよいのか
な。そんなことを考えな
がら館内の書棚をなが
めていると、居心地のよ
さそうな森の中で生き
生きと暮らすクマやリ
ス、ヤマアラシの姿が目
に入ってきました。

マサチューセッツ州
の農夫一家が去って
いった時から、大地は静
かに変化を始めます。2
〜3年後、そこには湿っ
ぽい草むらができます。
5年後、80年後、100
年後……。森の成長と共
に変化していく植物や
動物たち。荒れ地が森に
育つまでの200年に

わたるゆったりとした
時間が、シンプルな文章
とモノクロの繊細な絵
で描かれます。森の中で
考えてほしいこと、木と
のつきあい方のヒント
もあります。
子どもたちに手渡し
たい本の一冊です。

森はどこからきて、どう育ち、
やがてどうなるでしょう？
森の物語を想像できる絵本です。

木とふれあう

木のおもちゃのチカラで、
子どもたちの感性が刺激され、
想像力を育んでいきます。



取材協力／第二土佐山田幼稚園
香美市土佐山田町旭町2-6-12

幼稚園に木のおもちゃがやってきた!

香美市土佐山田町にある「第二土佐山田幼稚園」に、木のおもちゃがたくさん運び込まれました。これは「高知県森と緑の会」が行っている「木のおもちゃ貸し出しプロジェクト」（「緑の募金」活用事業）で、園児たちは目をキラキラさせながら、注意事項など話を聞いていました。「それではどうぞ」と福留恵子園長の合図で、ワーンと声を上げ、一斉に木のおもちゃを囲み遊びました。

木のおうちから顔を出して友だちとにっこり。先生が押す子どもが乗れる木の運搬車はいつも満員状態。木の玉プールで寝そべったり、スライダーにどんどん玉を入れる子どもたち。積み木をずっと続ける子、ドミノ倒しに夢中の子など、「大きい木の玉が思ったより軽し、手ざわりがいいよ」、「木の匂いが部屋いっぱいになってすごい」と話してくれました。

**子どもが穏やかな
気持ちになります。**

福留園長が「木のおもちゃ貸し出しプロジェクト」に申込みしたのは2回目。それは子どもたちの成長に木のおもちゃが大きく関わるからです。「お友だちとトラブルがあったり、気持ちが落ち着かない時、木のおもちゃの所にやって来る子がいます。黙々とスライダーに木の玉を入れ転がしたり、自分の居場所を見つけたかのようになり、木の車に「チョン」と座ったり……子どもたちは木のぬくもりにつつまれて、心の中で木のおもちゃと会話をしているようです。自然と穏やかな表情になっていますね」といいます。

自然の素材をそのまま活かした木のおもちゃは、香りや手ざわりから、子どもたちの五感を刺激し、想像力を育みます。木の子カラが子どもたちの成長を促す、木ってすごいですね。

毎日、おもちゃ広場へGO!

「おもちゃ広場には娘を週に2〜3回連れて来ます。家にも玩具はありますが、自分から遊ぼうとはしないですね。でも木の玩具だと自分で組み立てを考えるみたいで、お買いものをして、料理をつくって、食べさせてくれます。それから木のプールですね。家に帰っても今日遊んだ話を家族にしてくれるのが嬉しいです。」

「休みの日や、雨の日は外で遊べないので、2週間に1回くらい利用しています。子どもは木のプールがみたいです。（横にいた子どもが「埋めて、埋めて」とリクエスト。「とっても楽しいよ!」と笑顔がいっぱい）子どもは木の感触、肌ざわりが気持ちいいらしいです。」

**木の子カラで子ども、
お母さん同士の交流。**

サニーマートの社会貢献および地域活性化活動として、あそこの店が「おもちゃ広場」を開設しています。広いスペースに、木のプール、木のすべり台をはじめ、木の素材の料理コーナー、シヨップ、積み木やおもちゃなど、子どもがワクワクする広場です。

「おもちゃ広場」担当の八塚由佳理さんは、「小学校入学前のお子さんが対象です。ルールが守れて、ハートカード会員様なら、簡単な会員登録でいつでも入会できます」と説明。担当になって1年、子どもたちの遊ぶ表情を毎日見て、それぞれの子どもが優しい顔になっていることがわかると思います。

「まだお座りができない赤ちゃんも来ますが、初めて会った子たちが一緒に遊んであげたり、そんな様子を見てはお母さん同士の交流が生まれるなど、木のおもちゃが子ども同士、保護者同士をつないでくれますね。」

子どもが気軽に木のおもちゃにふれることができる量販店。優しい気分になる活動ですね。



「おもちゃ広場」の開園時間は午前9時30分から午後6時です。
詳しくはサニーマートあそこの店(高知市荊野西町3-18-18 TEL/088-845-1661)まで。

木の香るまちづくり推進事業

「木の文化県構想」に基づく「木に親しむ」・「木を活かす」活動の一環として、森林環境税を活用して、県産材を積極的に活用した公共的な空間等の整備に対して支援を行っています。例えば県内の幼稚園・保育所、小中学校の児童生徒が日常的にふれあう木製品(机・椅子・遊具等)の導入経費に、補助率1/2以内(限度額500万円)です。問合せ／県木材産業課 TEL/088-821-4591



「子どもたちの木育」

木

でつくろう

葉っぱや小枝をつかった
「ものづくり」は、
子どもたちの感性を伸ばし、
最後まで仕上げると
達成感を与えてくれます。



四万十自然工房「袖人」では木工体験ができます。
詳しくは四万十楽舎(四万十市西土佐中半408-1 TEL/0880-54-1230)まで。



こうち山の日推進事業
県民一人ひとりが森や山を守る活動の重要性に対する理解と関心を深めていくため、「こうち山の日(11月11日)」を中心とする県民が主体となって行う活動を、公益社団法人「高知県森と緑の会」を通じて支援しています。

木と葉っぱに生命があることを知りました。



四万十市にある「四万十楽舎」は、廃校となった小学校の校舎を再利用した自然体験学習の拠点で、川や山など流域の自然を生かしたさまざまな体験学習ができる宿泊施設です。また四万十市教育委員会の支援や、森林環境税を活用した「こうち山の日推進事業」を通じて、「森のようちえん」を定期的に開催しています。

この日は、同楽舎内で木工教室のインストラクターをしている四万十自然工房「袖人」の梨千春さんを先生に、地域の小学生と保護者の方が参加し、葉っぱや小枝、木を使った作品づくりにチャレンジ。平野三智事務局長の挨拶後、さっそく参加者全員で楽舎のまわりをぐるりと散策します。

「子どもたちには木の葉っぱの種類、形をしっかりと見て、さわってほしいです。それは、生命」と向き合うことになりました。今日は小学生が中心なので葉っぱと木を使ったアート作品づくりをします。木は私たちの身近にあって、それで行ういろいろなものがつくれるんだ、ということ子どもたちに伝えたいですね」と梨さん。

笑顔で「これ、うまいことだった」。

楽舎に戻り、葉っぱや小枝を集めた子どもたちは各テーブルに分かれ、画用紙に配置。それに好きな色のインクを落としていき、葉や小枝の型を取っていきます。それが終われば木の判子をベタベタ。途中からは手形になり、笑顔いっぱいの子どもたちがいました。

「これ、うまいことだった」と自慢げな男の子や、熱心に黙々と作っている女の子。梨さんは子どもたちの表情を見て、「子どもたちのときに森の中、自然の中で遊ぶ体験をすると、それは大人になって生きてくると思います」とこぼり。子どもたちの笑顔と達成感の表情が四万十楽舎を包んでいました。

「おとなの木育」

県産木材製品を**選ぶ**、**買う**。

高知の木を使った家や製品を買えば、
それだけで
森林保全活動に参加。
心が豊かになりますよ。



森林のことを考えて行動できる大人になろう。

高知市南御座にある「森の情報館」アス馬路村」では、(社)日本建築家協会 四国支部高知地域会(J-IA 高知地域会)住宅委員会の設計士が、高知市上町「龍馬の生まれたまち記念館」では、木と住まいの相談室「木と人・出会い館」の登録設計士が、それぞれ毎週末に「木の家に関する住宅相談会」を行い、ともに「高知県産材」を使った家をつくりませんか?と提案しています。

両方で相談員を務めるR I S E 設計事務所の植村佳史さんは木の家の特徴を、「住宅そのものが生き物ですね。新しい新建材などでつくられる家は、完成時が一番輝いている時ですが、木の家は年代を増すことにそれらしく年を取っていく。子どもの成長に合わせて、木も生長していきます」と話してくれました。

植林され充分生長したスギやヒノキ、それら伐るべき木を伐って、森林のバランスを保つことが、森林機能を回復させ、森林保全につながります。高知県産材を使って木の家を建てることは、まさにそれなのです。

環境に配慮した行動ができるおとなの木育。

もちろん私たちの生活の周りにも機会がたくさんあります。例えば誕生日や出産、入園式など人生の節目に県産材(間伐材)でつくった「木のおもちゃ」をプレゼントしたり、社会人となって名刺が必要となった時に「木の名刺」、企業ノベルティをつくる時に「木のうちわ」や「木のお箸お皿」など木のグッズ、自宅近くつづく「木の椅子」や「木のテーブル」。自分が行動し、人にも自信を持って勧めてください。

高知県産材を使った家づくりや、木材製品を意識して選んだり、買ったりすることが、高知の森林保全活動になります。日常が忙しくて森林ボランティアはできないけど、私たちは環境に配慮した行動ができる「おとな」なのです。



木の家の相談会
森の情報館・エコアス馬路村
高知市南御座16-23
TEL/088-880-1812
無料住宅相談会は毎週土曜・日曜の午後2時から5時迄

龍馬の生まれたまち記念館
高知市上町2-6-33
TEL/088-820-1115
「木と人・出会い館」が行う住宅相談は毎週土曜・日曜の午前10時から午後4時迄



これ、何の花？

夏から秋にかけて、うすい紅色や白色の大きな花が咲くよ。でも1日ではぼんでしまうんだ。花びらは5枚、それがクルクルらせん状に巻いていて、めしべの先は5つに分かれているよ。花びらが5枚以上重なって咲くものもあるんだ。



これ、何の花？

夏、枝の先に5~10cmくらいの黄色い花が1つか2つ咲くんだ。花は5枚の花びらがクルクルらせん状に巻いていて、花の真ん中は暗い赤色で、ろうとみたいな形だよ。葉っぱはマルやハートのような形で、秋には赤くなるんだ。



これ、何の花？

夏に、葉っぱのつけ根からうすい紅紫色の小さな花をたくさんつけるよ。果実は白くなって、ボール形で約2mmと小さいんだ。葉のふちは細かいギザギザの切れこみがあって、ピロードのような毛が生えているよ。



これ、何の花？

葉っぱは三角に近いハート形や卵形で、左と右で枝から生える大きさが違うんだ。花は良い香りがするよ。がくは赤色、花びらは白色、果実は紫っぽい青色。とってもきれいで、見て楽しむためにも植えられているんだ。

付録
おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた3

この花の木を知りたいな

高知を代表する木に咲く花だよ！
きつと学校のまわりや、近くの公園、山、海岸にあるよ。
こんな大きな木に、かわいい花や、めずらしい形のもの。
みんなで探してね。
うらには木の名前ととくちょうがかかれています。

花や木の大きさは、違う場合もあるので、めやすにしてね



これ、何の花？

夏、枝の先に1.5cmくらい、ラッパのような形のうすい青紫色の花をたくさんつけるんだ。果実は焦げ茶色で、5~7mmのボール形。葉っぱはだ円形でトゲはなく、裏は灰色がまじった白色、両面に細かい毛がたくさん生えているんだ。



これ、何の花？

葉っぱの長さは5cmくらい、卵のような形で、秋になると赤くなるんだ。夏の花の少ない時に咲くことから、よく庭や公園に植えられているよ。花は紅紫色や、ピンク、白色など、種類もたくさんあるんだ。



これ、何の花？

幹はまっすぐ上にのびることが多くて、大小のするどいトゲが生えるんだ。葉っぱは大きくて、先に集まって、四方へ鳥のはねみたいについているんだ。夏、幹の先に幅3mmくらいの、小さなうすい緑白色の花をたくさんつけるよ。



これ、何の花？

夏に小さな白い花が、ススキの穂のようにたれ下がって咲くよ。花びらの先は糸のように細かく裂けるんだ。果実は長さ1.5cmになって、冬に黒青色に色づくとき食べられるよ。街路樹としてたくさん使われているんだ。

高知県からのお知らせ

山の一日先生を派遣します

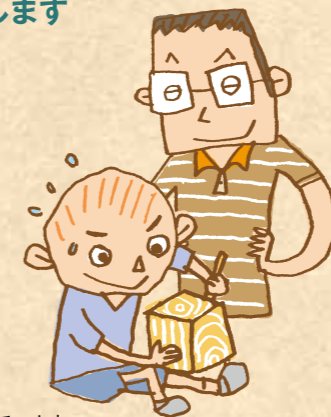
高知県では森林環境税を活用して、「豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山への理解や関心を深め、県民のみなさんお一人おひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって山を守り育て次代へと引き継いでいく」といった、「こうち山の日」(11月11日)の制定趣旨に基づいて、公益社団法人高知県森と緑の会を通じて山の一日先生を派遣しています。

山の一日先生派遣事業は、森や山に対する理解や関心を深めることを目的として、子どもたち(または保護者や教職員など)を対象に森や山について、林業体験、木工・クラフト、自然観察などを通じて学ぶものです。

この機会に是非山の一日先生派遣事業をご活用ください。

【お問い合わせ先】

公益社団法人 高知県森と緑の会
高知市本町5丁目1-50 中沢ビル4階
TEL/088-855-3905



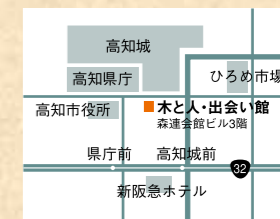
木と人・出会い館が移転しました

高知市追手筋「ひろめ市場」北側にあった木と住まいの相談室「木と人・出会い館」が、4月から高知市本町4丁目にある森連会館ビル3階に移転しました。道路に面した北側は丸の内緑地の木々の緑が楽しめます。

木と人・出会い館の開館時間は、月曜から金曜の午前10時から午後4時で、住まいの相談に応じています。また土曜・日曜は高知市上町「龍馬の生まれたまち記念館」で登録建築士による住宅相談も開催しています。どなたでもお気軽にお越しください。

【お問い合わせ先】

木と住まいの相談室
木と人・出会い館
高知市本町4丁目1-35
森連会館ビル3階
TEL/088-821-2266



【表紙は語る】

いろいろな色の木

表現活動を通じて、障害のある人たちが本来の自分になれることや、社会全体が美しい空間になれることを願い活動している「アートセンター画楽」(高知市)で、作品を制作している豊永智成さんに表紙を描いて頂きました。智成さんは「木の写真には色がなく、さみしい木に見えた。だから、色を混ぜて描いてみようと思った」そうです。

豊永智成 Tomoshige Toyonaga
彼の周りにはいつも楽しい雰囲気包まれていて、人が集まります。喋りは得意でも絵は苦手と思っているから「てきとー」という言葉で緊張をほぐす。スケッチに取り組みはじめ緊張は高まり、「適当にしゃべって適当に描く」と照れと緊張感をはぐらかします。でも、彩色は自信をもって取り組める事を彼は知っていて、色選びは慎重で余念がなく、真剣な表情をみせます。

アンケートにご協力下さい

- 高知県の「森林環境税」を知っていましたか。(1つだけ)
①内容なども良く知っている ②名前は知っているが内容はあまり知らない ③知らない ④その他()
- 本誌をどちらで入手しましたか。(1つだけ)
①学校、幼・保育所などの教育機関 ②観光施設や道の駅、直販所など ③図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設 ④スーパーや飲食店、美容院など ⑤その他()
- 今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(いくつでも)
①特集 ②木と本と ③家族で楽しめる高知・山の施設 ④みどりの遊び場 ⑤森からの贈り物 ⑥mamoriかるた ⑦別のことを取り上げてほしい(例えば)
- 本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。(1つだけ)
①良く理解できた ②少しは理解できた ③よくわからない ④その他()
- 今後、「mamori」で取り上げてほしいテーマはありますか。(いくつでも)
①森林や、森林環境税の広報 ②森林や山を守る県民の活動 ③子供たちの森林環境学習 ④間伐など森林整備の活動 ⑤地域住民による荒廃した里山・竹林の整備活動 ⑥公共施設の木質化の動き ⑦シカ被害対策などの取り組み
- 今号特集「木育」について、今後も高知県全体で取り組んだ方がよいと思われますか。
①そう思う ②そうは思わない ③どちらともいえない ④その他()
- どのような木育に興味がありますか。(いくつでも)
①木工ワークショップ ②読みかせ ③木のおもちゃ広場 ④間伐体験 ⑤木についての出前授業 ⑥木製品の購入 ⑦木のおもちゃの貸出し ⑧その他()
- 高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想やご意見をお願いします。

mamori 500

高知県林業振興・環境部 林業環境政策課
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号
TEL/088-821-4586 FAX/088-821-4576
E-Mail/030101@ken.pref.kochi.lg.jp
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/

森の文化・自然体験メニュー窓口
こうち森のささやき
http://www.moritomidori.com/sasayaki/

森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守っていくという森林保全を目的とする高知県の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担をいただいております。
発行日/2012年6月 制作・編集/クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーゴーデザイン 門田幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆インクで印刷しています。



*アンケートへのご協力、有難うございました。